

## 第4回宇宙開発利用大賞を受賞

宇宙開発利用大賞は、宇宙開発利用の推進において大きな成果を収める、先導的な取り組みを行う等、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の宇宙開発利用の更なる進展や宇宙開発利用に対する国民の認識と理解の醸成に寄与することを目的とした表彰制度です。

今回、特定非営利活動法人太陽放射コンソーシアムが、国立研究開発法人情報通信研究機構ソーシャルイノベーションユニット総合テストベッド研究開発推進センター、株式会社ウェザーニューズと共に、国土交通大臣賞を受賞いたしました。(URL:  
[http://www.uchuriyo.space/taishou/pdf/8\\_mlit.pdf](http://www.uchuriyo.space/taishou/pdf/8_mlit.pdf))

### 受賞者および受賞技術

国土交通大臣賞：「先端情報通信技術によるリアルタイムひまわりデータ可視化アプリ」

#### 受賞者：

中島 映至 特定非営利活動法人太陽放射コンソーシアム  
村田 健史 国立研究開発法人情報通信研究機構  
森田 清輝 株式会社ウェザーニューズ

#### 概要：

まわり衛星の全データをリアルタイム公開するひまわりリアルタイムアプリは、高速データ伝送、並列分散処理、スケーラブル時系列可視化などの先端的情報通信技術のマッシュアップにより実現した。台風時には10万アクセスを超え、気象予報、報道、教育、インターネット、イベント等で幅広く利用されている。年々利用件数は増加（2019年は300万PV以上）しており、東南アジアの3か所へのミラーサイト設置を完了した。

#### 受賞ポイント：

まわり衛星の全データをリアルタイム公開する取組及びそれを実現する技術は社会への貢献度も高く、評価できる。全データを公開していることから、市場でのその後の活用の幅も広がり、展開が期待できる。台風19号においても活用されたニーズの高い技術であり、今後の活用も見込まれる。社会実装されればそのインパクトは大きく、極めて大きな期待がもてる技術である。